

社会>公民的分野>(3) 私たちと政治>イ 民主政治と政治参加

公平・公正な選挙とは？〔熊取町立熊取中学校〕

⇒参考：指導路案
ワークシート

ねらい（つきたい力）

- 選挙の意義について学び、公正・公平な選挙の在り方について考察する。
- 「一票の格差」の問題に気づき、現代の選挙の課題について考えようとする態度をはぐくむ。

取り組みの概要

① ものごとを民主的に決める際に、選挙が行われることの意義について考えよう

<導入>

- ・資料「スイス・グラールス州の直接民主制（「ランツゲマインデ」）の拡大写真」を見て、何をしている様子であるかを推察する。
→生徒の多様な気づきを受容し、生徒の関心を高められるように配慮したい。

② 公正・公平な選挙を実施するための、選挙の在り方について考えよう

<基礎的な学習内容>

- ・ワークシート課題「中学校生徒会役員選挙のルール」について考え、班（4人）で意見交換し考えを深めてから、意見を発表する。（例：男女平等、1人1票、無記名、自分自身で投票…）。
→選挙は公正・公平に行われなければならないことを強調し、妥当性に欠いた回答が出た場合は、生徒に問い返し、班やクラス全体で論議させ、理解を深めさせたい。

③ 一票の格差の問題に気づき、一票の価値が平等であることの重要性を考えよう

<発展的な学習内容>

- ・ワークシート課題「選挙の方法の問題点と改善点」について考え、班で意見交流し、発表する。
- ・資料「『一票の格差』の問題について記された新聞記事」等を参考にする。
→選挙の手続きを批判的に見つめ、一票の格差や価値について考えさせたい。

工夫など

- 身近な生徒会役員選挙を実行する担任の立場に立って考え、課題を自分事としてとらえさせる。
- 少人数（班）で自分の思考を深め、全体（学級）で論議することで、多面的に考察させる。

授業を終えて

- 主体的に学習に取り組む生徒の姿が多くみられ、生徒の気づきから授業を展開することができた。
- 校内の生徒会選挙という課題では、「普通選挙」の重要性に気づきにくいいため、生徒の気づきを促すフォローが必要であった。